


AMU ニュースレター



【AMU PLAZA】 No.46号 令和5年4月

上田城千本桜まつりも盛況のうちに幕を閉じ、令和4年度もそろそろ次年度へ切り替えの時期が近づいてきました。ほぼ1年ぶりのニュースレター発行です。年間の軌跡をこの号でまとめてお伝えします。

長引くコロナ禍の下、手探りで事業を再開させてきた様子をご覧ください。中には前回の開催から3~4年ぶりといった事業もあり、久しぶりの再開はやはり嬉しいものでした。この春、長かったマスク生活からようやく以前の日常へシフトしつつあり喜び多い季節となりそうです。 

アムプラザ内の「にほんごアムアム」も開設してはや2年近く、順調に参加者が増えてきました。外国籍市民が日本語を学ぶ理由は、学校への入学準備、正社員の試験にチャレンジ、運転免許取得のため、そして友達が欲しくて来る人など様々です。それぞれの目的が少しでも前向きになるようにサポートしていますが、実は支援者の方が学習者から学ぶことが多かったです。学習者の中には「AMUは楽しいから！」

と友人に紹介してくれる方もあり、そこから新しい仲間につながっていく、そんなことも支援の励みになっています。日々の交流からあらゆる価値感が広がってゆく感覚、異文化間のつながりは気持ちの豊かさにもつながるのではと感じています。



【令和4年度の活動】 主なものをご報告します。

◆多文化交流サロン 6月26日(日) 10:00~12:00 中央公民館 第1会議室

外国籍市民とAMU理事を中心に4グループでトークを繰り広げました。飲食を除いた「会って話す」交流に限られていたものの、参加者からはたくさんの意見が出て大変賑やかな交流となりました。

・・外国籍市民への質問・・

日本に住んで良かったと思うことは何ですか？
今でも慣れない事がありますか？

*良いことは、安全・平和、清潔さなど。

*慣れない事は、曖昧な表現、ニュアンスなど。

例)「ご遠慮下さい」、何かすすめられた時の
「いいです」、何を「よろしくお願いします」？

温泉・和菓子が大好きな人も



・・日本人への質問・・

外国籍市民の慣れない事について、どのように関わっていけばよいのでしょうか？

*やさしい日本語で話す。
普段から難しい言葉を使わない
トレーニングをしておく。

◆信州大学留学生ガイダンス 7月7日(木) 11:15~11:30 オンライン

安藤会長が信州大学繊維学部の留学生に向けてAMUの活動紹介を行いました。留学生の健康管理、交通ルール、在留資格などについてそれぞれの専門機関がガイダンスを行うものです。毎年実施されています。

◆うעדわっしよい 7月30日(土) 16:00~19:00 令和4年は前回から3年ぶりに開催が決まり、



参加人数制限、開催場所などの大幅な変更が行われました。AMU国際連は上田城跡公園内の第1部17時~18時に参加の予定だったものの、なんとスタート直前に大雨に見舞われ、代わりにアムプラザで交流タイムとなりました。踊りへの参加は残念ながら見送りましたが、せっかく浴衣を着たので上田城跡公園へ出向き、記念撮影をしました。雨上がりのひととき、夏祭りの雰囲気を楽しんでもらえたでしょうか。

◆上田高校フィールドワーク 9月14日(水) 13:30~16:00

駅前ビルパレオ 共用会議室

AMUより上田高校1年8組の生徒4グループに課題を出し、その内容に



ついて学生たちの研究成果を発表してもらうものです。AMU（17名）は講評を担当しました。
今年の課題は次のとおりです。

多文化共生社会において、日本人と外国人、それぞれの国の文化、習慣、考え方などの違いを知り、日本人との違いに驚きながら
会話することにより、より一層、その人（その国）に親しみを持つことができるのか、試してみよう

この課題研究を進めるには、外国籍市民へインタビューを行うことが前提です。学生たちは国と国との社会制度、異文化を背景としたマナーなどの比較を中心に聞き取りを行い、その過程で外国籍市民への親密度がどのように変わるのかを具体化していました。当日は、金久美理事の講話に加え、高校生たちの研究に対する外国籍市民、海外経験者などの意見が相乗し、より幅広い探求に繋がったのではないのでしょうか。

◆うえだ多文化交流フェスタ 2022 10月23日（日）10：00～13：00 中央公民館 大会議室

コロナ禍での開催決定時、最大の課題は感染拡大防止とイベントの両立でした。何度も協議を重ねフェスタ開催時間を従来の半分に短縮、会場は大会議室のみ、参加ブースを絞り、試食は持ち帰りなど、大幅な変更を実施しました。来場者の数が予測できないまま本番を迎えましたが、当日は大会議室いっぱいに展示ブースとステージパフォーマンスがくり広げられ、たくさんの方に楽しんで頂きました。中学生の英語スピーチ、にほんごアムアムの学習者によるプレゼンテーションなど、新しい企画も盛り込みました。試食セットも5か国の料理が揃い大変好評のうちに終了しました。



◆塩尻公民館 自治会懇談会 10月29日（土）19：00～20：00 塩尻公民館

馬俊紅さんに日本での生活「誰かの靴を履いてみる」を話して頂きました。神仏共存などいまだに日常生活の中で不思議に思うこと、出身国（中国）と比べ小学校の担任の先生の大変さ等、子育てからの視点も交えて話しました。日本人の保護者間のやり取りは日本語の問題と異なりいまだに見えにくいそうです。外国人というくくりは社会的弱者という言葉で位置づけられている側面もあります。しかしそこから発せられる言葉は決して弱者の声ではなく、共存のために知るべきことであると気づかされます。



◆上田東ロータリークラブ主催「上田っていいところ？外国籍市民が見たうえだ」

11月13日（日）15：00～17：00 東急REIホテル 千曲の間

外国籍市民6名が表題に沿ってパネルディスカッションを行いました。

司会者はAMU理事の田中琳さん（中国）、パネリストには
上田市在住のベトナム、カナダ、インドネシア、スリランカ、ブラジル出身の

5名が登壇しました。パネルディスカッションの内容は、上田東ロータリークラブにより、

外国籍市民へのアンケート結果と共に冊子としてまとめられています。冊子はAMUでご覧いただけます。



◆シニア大学 12月7日（水）13：00～15：00 上田合同庁舎 講堂

AMU理事の田中琳さんとマーメットシヨーンさんが「異なる文化の中で生きる」をテーマに講義を行いました。田中理事は、地元コミュニティでの外国籍市民の受け入れプロセスを自身の経験をもとに4ステップにまとめて発表、マーメット理事は、出身国カナダの歴史から入り、幼少期より各国で暮らした経験から、自らのルーツを保ちつつ、異文化で暮らすヒントについて話しました。

◆立教大学コミュニティ福祉学部 オンライン出張授業 12月12日(月) 13:30~15:00

昨年に引き続き2回目の授業です。安藤会長による授業は、上田市の外国籍児童生徒の日本語学習の現状、そして外国籍の児童・生徒も教育を受ける権利について。金久美理事からは、在日コリアンのおかれた状況について。例をあげると在日コリアンは国籍、選挙権、被選挙権もなく朝鮮学校が正規の学校として認められないことなど、「私たちは何もしていないのに」様々な不条理のなかで生きていることなど改めて考えさせられました。また、日常の中に隠れている特定民族に関する偏見についても多様な角度から認識できることも話し、そこから彼らの声が公に届きにくい社会構造についても考える機会となりました。

◆外国籍市民のアート展 12月16日(金)~12月22日(木) 10:00~16:00 サントミュージアトリエ

AMU初の試みです。ブラジル、アメリカ、ドイツなどの出身者による写真と水彩画の作品展を開催しました。

この企画は、にほんごアムアムから参加者の魅力的な作品が偶然揃ってまとまったものです。開催期間中は

連日盛況で、出展者はみずから来場者に説明を行うなど異文化交流の機会

にもなりました。6日間でおおよそ300名弱の方に来場いただきました。



◆ことぶき大学院 「多文化共生~外国籍市民の方をお迎えして」

令和5年1月12日(木) 10:00~12:00 中央公民館



レイナ百合子理事がヒジャブとイスラム教の講義をしました。ヒジャブにもたくさんの種類があり、国によって着用の傾向が異なること、また、イスラム教の五行についても学びました。受講生たちにとってムスリムの方から直接お話を聞くことは初めての試みだったそうです。安藤会長からは上田市の外国籍児童・生徒の日本語教育についてお話がありました。

◆外国籍市民への日本語支援者養成講座 令和5年1月29日(日)~2月26日(日) アムプラザ

全4回シリーズで開催しました。

第1回 1/29(日)

13:30~15:00

神川小学校日本語教室 橋詰明枝
先生「日本語支援ボランティアの
心がまえについて」

第2回 2/5(日)

13:30~15:00

にほんごアムアムの見学
質疑応答

第3回 2/17(金)

16:00~17:30

「海外体験談」
花村由実子さん(ニューヨーク)
高木夏子さん(ドイツ)
荻野真由美さん(インドネシア)

第4回

2/26(日)

13:30~15:00

学習支援
ネットワークによる
派遣先の報告

4回の講座終了後、受講者よりボランティア希望者を募り、フォローアップ養成講座を開催しました。受講者は、その後にはほんごアムアムの支援に繋がっています。

◆上田女子短期大学主催 外国籍市民との交流会 令和5年2月4日(土) 15:00~16:30

中央公民館 第1会議室

外国籍市民4名と学生達の交流会です。中国、イギリス、インドネシア、ペルーのテーブルに分かれ、学生がインタビューをしながらローテーションで回ります。和やかに交流が進む中、国による「愛の告白のしかた」などのトピックもあり、学生達を中心に会話が弾んでいました。



◆外国籍市民のための防災基礎講座 令和5年2月12日(日) 上田中央消防署 10:00~12:00

4年ぶりの開催です。上田市危機管理防災課の担当者より上田市の自然災害、緊急時の連絡方法、避難先などの説明があり、その後上田消防署の敷地内で煙トンネル、消火器体験を行いました。消防車、救急車の内部、



はしご車も見学できて参加した子供達も満足したようです。消防隊員の制服とヘルメットを着用し写真撮影をした親子もいました。帰りに非常食、緊急時のセットなどが配られました。防災講座が何なのか知らない外国籍市民も参加し、良い体験になったそうです。

◆異文化理解講演会 「あなたの知らないイラン」 令和5年3月5日(日)

14:00~15:30 中央公民館 大会議室

イラン出身のフリージャーナリスト、板谷ケンさんによる講演会。板谷由紀子さんのピアノ弾き語り「私のふるさと」(ペルシア語)で始まり、イランの起源から、食文化、1979年のイスラム革命以降の情勢をお話いただき、最後に日本とイランの類似点も紹介。イランにはなんと炬燵によく似た暖房器具がありました。講演のクロージングもピアノ弾き語り「人間なら」。板谷さんが13世紀イランの詩人サーディの詩を日本語に訳し作曲したそうです。わかりやすい講演と美しい音楽でイランがより身近な国となったことと思います。



◆西部・塩尻地区人権指導者研修会 令和5年3月8日(水) 19:00~20:00 西部公民館



安藤会長による上田市の外国籍市民数(国籍別)、外国籍児童生徒数の内訳の説明、AMU活動及びにほんごアムアムの状況などのお話につき、AMUコーディネーターが、ある懇談会で実際に経験した「一定の集団で偏見が共有されると、その中では偏見でなくなる」事例をお話しました。

◆行政関係会員連絡会 令和5年3月14日(火) 13:30~15:30 プラザ・ゆう 大会議室

4年ぶりの開催です。前半はAMUの活動状況報告、行政関係会員からの活動状況報告及び意見交換を行いました。後半は東京出入国在留管理局 大西典子氏による「やさしい日本語講座(話しことば編)」行政内での外国籍市民と担当者のやり取りについて、実際のケーススタディーをもとにやさしい日本語での対応を考えてみました。「説明は簡潔に」、「結論を先に話す」などいくつかポイントがありますが、相手が何を聞きたいのか考える習慣づけは大切で、広範囲で定着させていきたいコミュニケーション手法です。

◆野外交流会 別所線に乗車して別所名所めぐり 3月26日(日) 8:30~午後は流れ解散

アムプラザ集合~上田駅より別所線乗車~生島足島神社を散策~別所温泉駅からあいそめの湯へ。昼食(お弁当)~ジャンケン大会、O×ゲームなどで大変盛り上がり、午後は北向観音へ、解散後、希望者は温泉入浴🍷

当日は小雨にもかかわらず、朝早くから留学生、技能実習生などが大勢集まりました。上田駅から別所線に乗車すると、ハーモニカ駅長の演奏が披露され一緒に歌う人も!生島足島神社では地域おこし協力隊の方々のガイドでグループごと神社内を巡りました。終点の別所温泉駅には袴姿がお出迎えです。あいそめの湯でお弁当を食べたあとは、半田議員による大迫力のジャンケンゲーム、安藤会長によるO×ゲーム、ともに豪華景品付きで大変楽しい時間を過ごしました。雨天により予定を変更し、午後は北向観音で解散となりました。



この野外交流会は
昨年2回も延期🌀…
3回目ようやく実現!

【コーディネーター退職のご挨拶】 6年間にわたりニュースレターを担当して参りましたが、令和5年3月末を持って任期終了、退職いたしました。皆様と紙面で繋がる事が出来たことが思いがけない喜びであり、励みでもありました。長い間ニュースレターをお読みいただいた皆様、活動を共にして下さった皆様にご心より感謝申し上げます。(大井鈴子)

発行：上田市多文化共生推進協会 (AMU)

〒386-0024 上田市大手2-4-4 Tel/Fax 0268-25-2631 E-mail: ueda_tabunka@po15.ueda.ne.jp